



## 元トヨタ自動車<sup>かんじ</sup>副社長・栗岡完爾さんが講演

立地企業等懇談会講演会

立地企業等懇談会講演会が11月17日、勤労青少年ホーム小ホールで開かれました。

この講演会は、町が町内の立地企業などを対象とし、現在の企業を取り巻く厳しい経済環境のもとで抱えるさまざまな問題や環境の変化への対応など「今、なにをすべきか」を考える機会としていただくため、講演テーマを「まちと共に生きる企業 ～将来を考える～」として行われたもので、立地企業や関係団体から約220人が参加しました。

講師には元トヨタ自動車株式会社副社長で、現在は顧問であり、名古屋商工会議所<sup>かんじ</sup>参与の栗岡完爾さんが迎えられ「地方創生には、自由闊達<sup>かつたつ</sup>な交流が不可欠」と題して講演しました。



1\_講演する栗岡完爾さん／2\_会場には多くの参加者が集まった

栗岡さんは、自身の企業経営者としての経験を通じた企業のあり方などの話を交えながら、復興と地方創生を進めるために福島が、そして小野町が何をすべきかについて話をしました。その中でも特に、首都圏から離れるほど輸送コストがかかり、人も企業も集まりにくく条件が不利になっている地域の課題解決策である「高速道路の定額化などによる輸送コストの削減」について分かりやすく説明していました。参加者も、この講演を地方創生、そして企業経営を通じた地域づくりに向けての一助としていきたいと話していました。

今回の講演会開催に当たり、ご支援をいただいた名古屋商工会議所の皆さんをはじめ、町内立地企業および関係団体の皆さんに対し、厚くお礼申し上げます。

## おいしい鍋ができました

鍋料理コンテスト

子供たちによる鍋料理のコンテストが11月30日、緑とのふれあいの森公園で行われました。

当日は町内外から9組、約40人の小学生が参加し、白菜やネギ、大根、ニンジンなどの野菜をふんだんに使った鍋料理に挑戦しました。

下ごしらえでは「僕が」「私が」と声を出し、包丁を片手に真剣な表情で野菜を刻み、味付けでは「ちょっと味が薄いかな」「何か足りないよね」と不安顔で調理をしていました。

子供たちの思いが詰まった9種類の鍋は、見た目にも楽しい鍋や具材を串に刺し食べやすくする工夫がされた鍋、トマトベースの洋風鍋など、大人顔負けの料理ばかりで、試食した皆さんは笑顔いっぱいでした。



1\_思い思いの鍋をつくる子供たち／2\_1位に輝いた鍋